

JAバンク茨城における地域密着型金融の取組状況（平成27年度）

JAバンク茨城（茨城県内JAとJAバンク茨城県信連）では、農業と地域社会に貢献するため、平成25～27年度JAバンク茨城3か年中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組ましました。

平成27年度の地域密着型金融の取組状況について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 (JAバンク茨城の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク茨城は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク茨城は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成28年3月末時点のJAバンク茨城の農業関係資金残高は、43,635百万円となっています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
プロパー資金	41,193
農業制度資金	2,442
うち農業近代化資金	770
うちその他制度資金	1,672
合 計	43,635

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク茨城原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク茨城が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

なお、JAバンク茨城における独自の農業資金として、「農業経営拡大資金」および「認定農業者育成特別資金」を農業者・農業法人等にご利用いただいております。

【JAバンク茨城独自農業資金残高】 (単位：百万円)

農業資金名	資金の用途	平成28年3月末現在
農業経営拡大資金	農業経営に関わる一切の資金	3,840
認定農業者育成特別資金	認定農業者の経営に関わる一切の資金	5,780

(注) 両資金は、上記(1)資金種類別農業資金のプロパー資金に含まれています。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	平成28年3月末現在
農業	19,119
穀作	3,135
野菜・園芸	5,111
果樹・樹園農業	452
工芸作物	69
養豚・肉牛・酪農	1,192
養鶏・鶏卵	78
養蚕	0
その他農業	9,082
農業関連団体等	24,516
合計	43,635

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

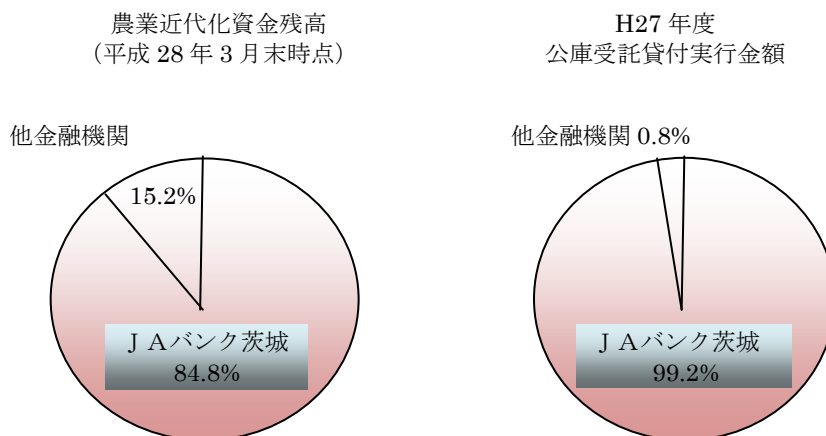
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在
日本政策金融公庫資金	9,717
そ の 他	0
合 計	9,717

(注) JAバンク茨城では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

J Aバンク茨城は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて県内トップシェアとなっています。

【茨城県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク茨城では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に積極的に取り組んでいます。

J Aでは、本・支店（所）の農業融資担当者が、営農・経済部門担当者と連携し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

県内 J A・信連には、64名の「担い手金融リーダー」が登録されており、そのサポート指導機能として、J Aバンク茨城県信連融資部内に「J A農業担い手金融支援センター」を設置しています。

また同センターは、農業法人等への融資相談機能も担っています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク茨城は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク茨城では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位:件,百万円)

	平成 27 年度 実行件数	平成 27 年度 実行金額	平成 28 年 3 月末 残 高
就農支援資金	9	5 1	6 6 8
その他	0	0	0
合計	9	5 1	6 6 8

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク茨城は、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取組んでいます。

【平成 27 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち期 中に再生計 画を策定し た先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A	
正常先①	58	0	—	59	0.0%	—	
要注意先	うちその他 要注意先②	155	0	15	123	0.0%	9.7%
	うち要管理先 ③	18	0	2	16	0.0%	11.1%
	破綻懸念先④	68	4	3	56	5.9%	4.4%
	実質破綻先⑤	189	0	11	176	0.0%	5.8%
	破綻先⑥	9	0	2	7	0.0%	22.2%
	小計(②～⑥の 計)	439	4	33	378	0.9%	7.5%
	合計	497	4	33	437	0.8%	6.6%

注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 28 年 1 月末時点でのものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク茨城は、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク茨城では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 27 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件，百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 28 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	32
畜産特別資金等	0	0	64
負債整理資金	13	78	1,708
その他	0	0	0
合計	13	78	1,708

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク茨城は、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク茨城では、被災した組合員・利用者に対する支援として、平成 27 年度系統農業災害資金（大雨）、平成 27 年度系統農業災害資金（積雪等）を創設したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

資金名	J A名	融資限度額	融資期間	件数	実行金額
平成 27 年度系統農業災害資金（大雨）	J Aバンク 茨城	500 万円	5 年	116 件	347 百万円
平成 27 年度系統農業災害資金（積雪等）	J Aバンク 茨城	500 万円	5 年	25 件	47 百万円
合計				141 件	394 百万円

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク茨城は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材本は、県下の小学校 538 校（32,750 セット）へ配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J A では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A水戸	ちゃぐりんフェスタ (2回実施)	①女性部による J A 管内在住の親子を対象とした料理イベント。 「ちゃぐりん」を用いた食育教室などを実施。 ②青年部による食育活動。 地元小学生を対象に米の脱穀作業や縄苗作り、ライスセンター見学等を実施し、新米や地元野菜を使ったけんちん汁等を振る舞う。
	J A 水戸親子ファーム	・地元の親子を対象に、J A 経済部指導のもと、短中期的に農作物が出来るまでの一連の農作業を体験する。
J A常陸	サッカー大会 (ひたちなか地区)	・管内のサッカースポーツ少年団を対象とした少年サッカー大会開催時に、J A 特産品を配布し、地産地消・食農教育セミナーを実施。
	農業体験学習	・管内の子供たちを対象に、稲、さつまいも、イチゴ等の農業体験学習を実施。
	料理教室	・管内の子供たちを対象に、地元産の青果物を取り入れた料理教室を開催。

J A 常陸	加工体験学習	・管内の子供たちを対象に、ほしいも、豆腐、そば等の加工体験学習を実施。
	J A 常陸サッカー教室 (ひたちなか地区)	・管内のサッカースポーツ少年団を対象にしたサッカー教室開催時にく食農・環境保全・金融経済をテーマとした食農教育活動を実施。
	J A 常陸 (大宮地区) 学童野球大会	・管内の野球スポーツ少年団を対象にした野球大会開催時にく食農・環境保全・金融経済をテーマとした食農教育活動を実施。
	学校給食への J A いばらき米「奥久慈の恵うまかつぺ」の贈呈	・大宮地区管内で生産されたブランド米を管内の小・中学校で試食を提供し、合わせてく食農・環境保全・金融経済をテーマとした食農教育活動を実施。
	郷土料理体験	・常陸太田市内の高校で、そば打ち体験とけんちん汁を作り、地元郷土料理作りを体験。
	サツマイモ苗植付	・常陸太田市内の小学校を対象に、サツマイモ苗の植付体験のため、苗および肥料を提供。
	学校給食	・常陸太田市内の小学校(3校)に、バケツ苗を提供し、苗植えから収穫までのお米作りを体験。収穫したお米や地場産野菜を使い、おにぎり作り等を体験。
	家庭科授業でのおにぎり・味噌汁作り	・常陸太田市内の小学校における家庭科授業の一環として、地場産白米と野菜を使用し、おにぎり作り等を体験。
	学校給食	・常陸太田市内の幼稚園、小学校、中学校の給食食材として、地場産牛肉を提供。
	J A 常陸サッカー教室 (高萩地区)	・管内のサッカースポーツ少年団を対象にしたサッカー教室開催時にく食農・環境保全・金融経済をテーマとした食農教育活動を実施。
J A ほこた	小学生食育推進事業	・管内小学生を対象に、J A 営農指導員による食育授業の後、イチゴ収穫体験を実施。収穫時の感想を絵にして、J A 直売所に展示。
J A 稲敷	ちゃぐりんフェスタ	・管内の小学生を対象に米粉を使った料理体験スクールを実施。
J A 竜ヶ崎	農業体験スクール (2回実施)	・小学生、園児を対象に農業体験学習を実施。
J A 茨城みなみ	農業体験交流	・田植え、案山子作り、稲刈り、バケツ稲作り、トマト収穫体験等を実施。
J A 茨城むつみ	人参収穫体験	・地元幼稚園児童を対象に、収穫体験等を実施。
	ジャガイモ掘り体験	・管内総和地区に在住の親子を対象に、ジャガイモ掘り体験等を実施。
	選果場職業体験	・管内小学校2年生(1校)を対象に、トマトパック詰め体験等の職業体験等を実施。
J A 岩井	レタス収穫体験	・地元小学校5年生を対象にレタス収穫と調理実習を実施。

以上